

Q&A 教科書の 大判化について



17年度版「国語」五上「人とものつき合い方」



14年度版「国語」六上「森へ」



17年度版「国語」五上「人とものつき合い方」

Q 平成十七年度版から、五年生以上の教科書が大きくなると聞きました。どんな理由から大きくするのでしょうか。

A 今使っていたいている教科書は、一年から四年までが大判なのに対して、五年以上の教科書は従来どおりの大きさです。しかし、平成十七年度版の新しい教科書では、全学年の教科書が大判になります。

大判にする理由の第一は、四年までの教科書と同様に活動場面をわかりやすく示し、挿絵も大きくして、より見やすい紙面にするということです。実は以前から大判化の計画がなかったわけではありません。現に他教科の教科書ですでに大判化されています。にもかかわらず国語科での全学年大判化が遅れたのは、紙面の文字組みの調整を慎重に行ってきたためです。国語の教科書は、従来から縦書きが採用されています。縦書きの教科書は大判化し、五、六年の教科書の活字をそのままの大きさで使つと、一行の文字数が多くなり、読みにくくなるだろうということが懸念されたのです。しかし、平成十四年度版から活字の制約が緩和されました。そこで、まず三、四年生の教科書で大判化に取り組んだところ好評でしたので、今回、五、六年生の教科書にも広げてみたわけです。大判化にあたっては、三、四年生の場合と同様に活字の

大きさを一回り大きくし、一行にびっしり文字が詰まっているという感じを与えないような編集を心がけました。行間も広めになりましたので、読みやすさがアップするのと同時に、行間への書き込みなどもしやすくなったのではないかと思っています。

大判化の第二の理由は、より豊かな情報を与えることができるようにすることです。紙面が大きくなった分、情報量を増やすことが可能になりました。事実、情報量は若干増えております。しかし光村版では量の向上より質の改善を重視しました。例えばグラフィックや写真、挿絵などが大きく、そして見やすくなっています。子どもたちはそこから、今まで以上に多様な情報を汲み取ったり想像を広げたりしてくれるのではないかと期待しています。また、写真や挿絵を活用した学習がしやすくなることで、指導方法に広がりが出ればとも願っています。

「教科書ここが知りたい」は、国語編集部に寄せられる疑問・質問にお答えするコーナーです。「こんなことを取り上げほしい」というご意見を広報課までお寄せください。

FAX03-3493-5483 E-mail: koho@mitsumura-tosho.co.jp

なお、光村図書ホームページも合わせてご覧ください。

<http://www.mitsumura-tosho.co.jp>